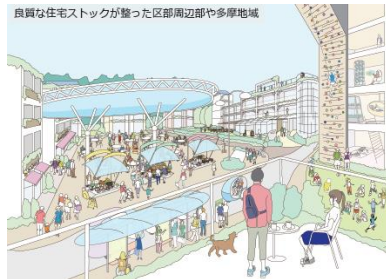


「都市づくりのグランドデザイン」について

Tokyo in the 2040s

都市づくりの グランドデザイン

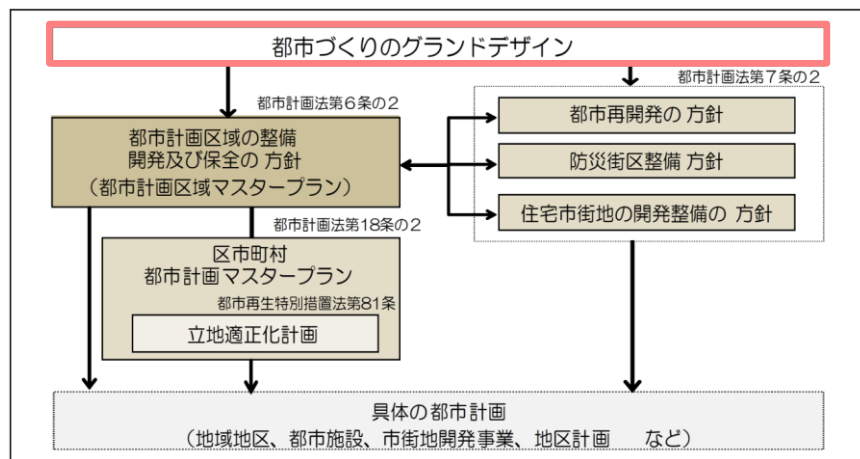
— 東京の未来を創ろう —



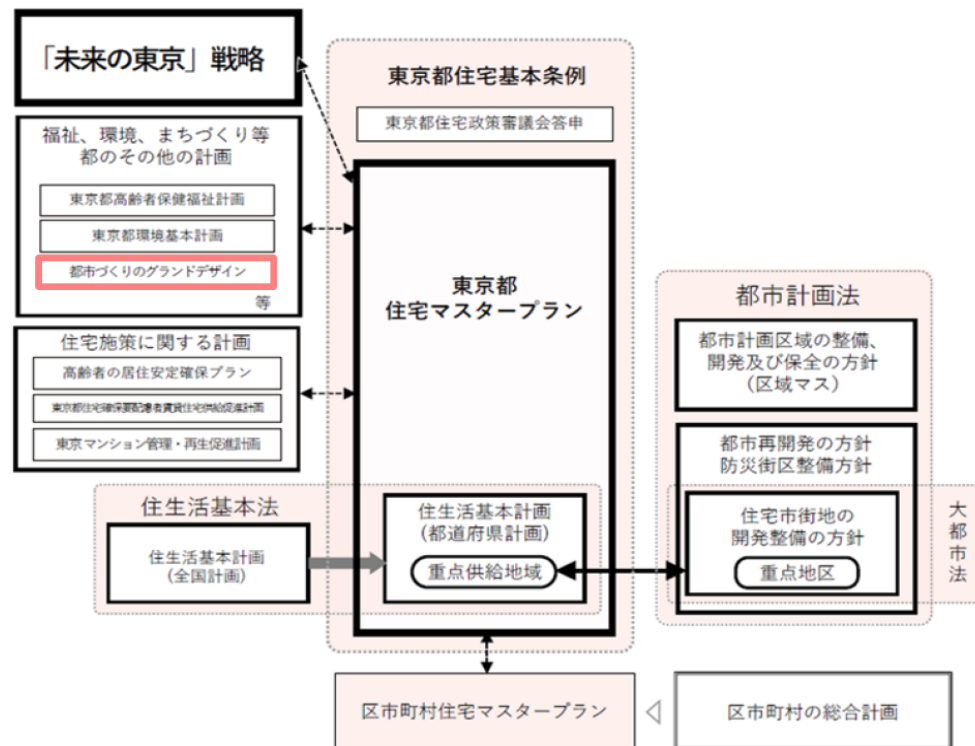
(策定：平成29年9月)

都市づくりのグランドデザイン（1）位置付け

- 「都市づくりのグランドデザイン」は、目指すべき東京の都市の姿と、その実現に向けた都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示す行政計画として、平成29年9月に策定
 （現在、東京を取り巻く情勢の変化（未曾有のコロナ危機や、目前に迫る人口減少と本格的な少子高齢社会の到来、新技術の驚異的な進化、気候変動の深刻化など）を踏まえ、都市づくりのグランドデザインの改定に向け検討中）
- 「東京都住宅マスタープラン」における住宅市街地の整備の方向や「住宅市街地の開発整備の方針」は、都市づくりのグランドデザインで示された地域区分等に基づき、施策展開の方向性や整備の方向性を示すもの



都市計画区域マスタープラン等に係る位置付け



東京都住宅マスタープラン等に係る位置付け

都市づくりのグランドデザイン（2）変遷

都市づくりビジョン

都市づくりのグランドデザイン

策定年次

2001年

2009年

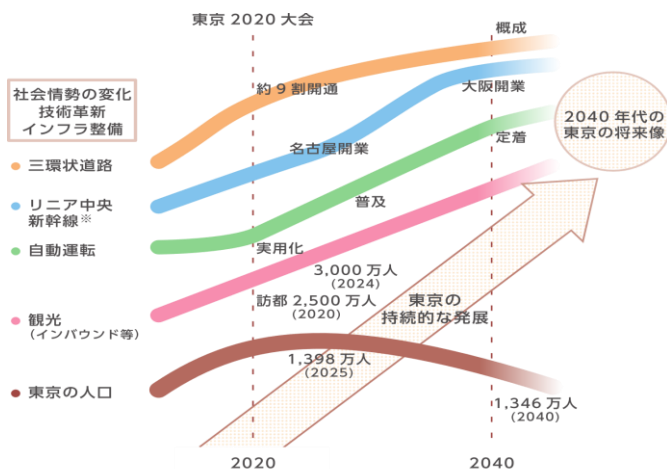
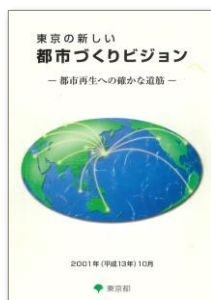
2017年

目標年次

2025年

2025年

2040年代



想定される社会の変化やインフラ整備のイメージ

(主な内容)

1. 2040年代に想定する社会変化の見込み
2. 東京が果たすべき役割
3. 2040年代に目指すべき東京の都市像
4. 都市づくりの戦略・具体的な取組
5. 個別の拠点や地域の将来像
6. 2040年代の将来像の実現に向けて

など

都市づくりのグランドデザイン（3）想定する社会変化・都の役割

1. 2040年代に想定する社会変化の見込み

1. 社会状況の見込み

- 海外の企業誘致や人材受入が進展、往来が活発化
- 高齢者や子育て世代の社会参画が進展
- 価値観の多様化、ライフ・ワーク・バランスの実現

- 暮らしが潤う創造的な芸術・文化活動が増加
- 未曾有の自然災害、新たな感染症など危機に対応
- 国内外をつなぐ陸・海・空の広域的なインフラが充実

2. 技術革新の見込み

- 完全自動運転の実用化、公共交通への活用拡大
- 低炭素で多様なエネルギー利用や環境技術が進展

- 人工知能(AI)やロボット技術が社会課題を解決
- ICTの進展により暮らしの豊かさや効率化が実現



大型トラックの自動運転・隊列走行 物流倉庫における作業の自動化

2. 東京が果たすべき役割

1. 世界における役割

- 多様な人々・文化の交流を育む
- 伝統と先進を融合した新たな価値を創出
- 都市課題の先駆的な解決モデルの構築・発信

2. 日本における役割

- 高度な集積を生かし、経済活動の推進力を発揮
- 様々な地域と連携し、一層魅力的な日本を創造・発信



都市空間における先端技術の
ショーケース化



プロジェクションマッピング
(東京ビッグサイト)



東北六魂祭パレード

都市づくりのグランドデザイン（４）目標・都市構造

3. 2040年代に目指すべき東京の都市像

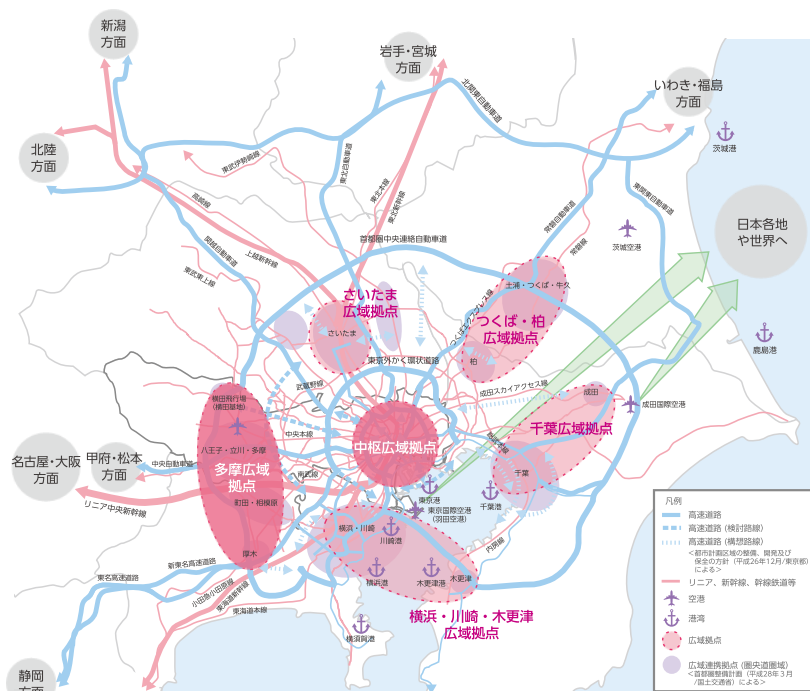
1. 都市づくりの目標

活力とゆとりのある高度成熟都市 ～東京の未来を創ろう～

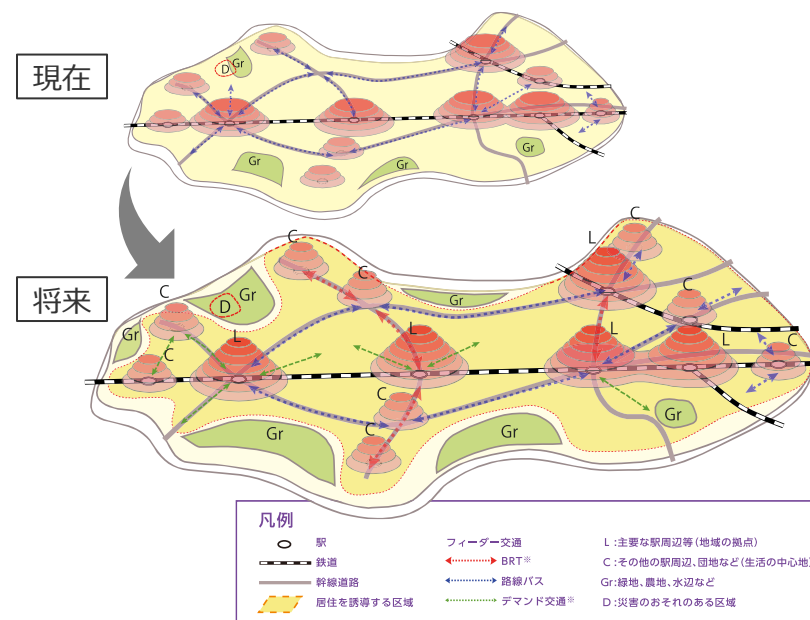
- 高度な都市機能の集積とグローバルな人・モノ・情報の交流により、新たな価値を生み続ける場として世界中から選択される都市
- 個性ある多様な地域・拠点において、あらゆる人々が活躍、挑戦でき、生活のゆとりを楽しみ、ライフスタイルに柔軟に対応し、多様な住まい方・働き方・憩い方を選択できる持続可能な都市

2. 目指すべき都市構造のイメージ

- 環状メガロポリス構造を更に進化させた**交流・連携・挑戦の都市構造**で、国内外の人・モノ・情報の自由自在な移動と交流を実現
- コンパクトで多様な特色のある**集約型の地域構造**で、にぎわいと魅力あふれる持続可能なまちを実現



交流・連携・挑戦の都市構造



集約型の地域構造

都市づくりのグランドデザイン（5）地域像

3. 地域像（地域別のイメージ）

- 都市機能の集積や地域特性、インフラの整備状況、今後の社会経済情勢の動向など、将来を見据えた

4つの地域区分（①中枢広域拠点域、②新都市生活創造域、③多摩広域拠点域、④自然環境共生域）へ再編

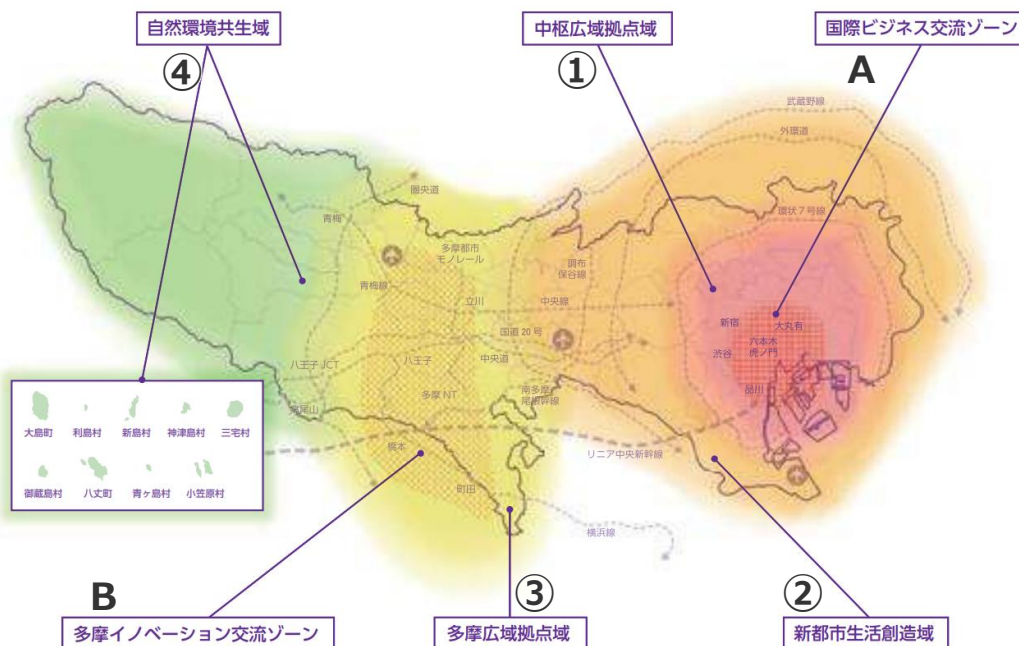
- ① 国際的なビジネス・交流の拠点や文化・芸術など個性ある多様な拠点、複合的な中高密度の市街地が形成
- ② 木密解消、大規模団地の更新に併せ、水と緑に囲まれたゆとりある市街地や駅周辺に集約された拠点を形成
- ③ リニアや圏央道等を活用した研究・学術・ものづくり等の拠点や、誰もが安心・快適に暮らせる住環境を形成
- ④ 人々をひきつける豊かな自然環境や地域資源を活用し、多様な機能を付加することで、地域の魅力を向上

- 日本と東京圏の持続的な成長と活力をリードするエンジンとしての役割が期待される

2つのゾーン（A 国際ビジネス交流ゾーン、B 多摩イノベーション交流ゾーン）を設定

A 国際的なビジネス・交流機能の強化とその持続的な更新が図られ、国際水準の都市環境が整備

B 域内外との交流や積極的に挑戦できる環境が整い、多様なイノベーションが創出

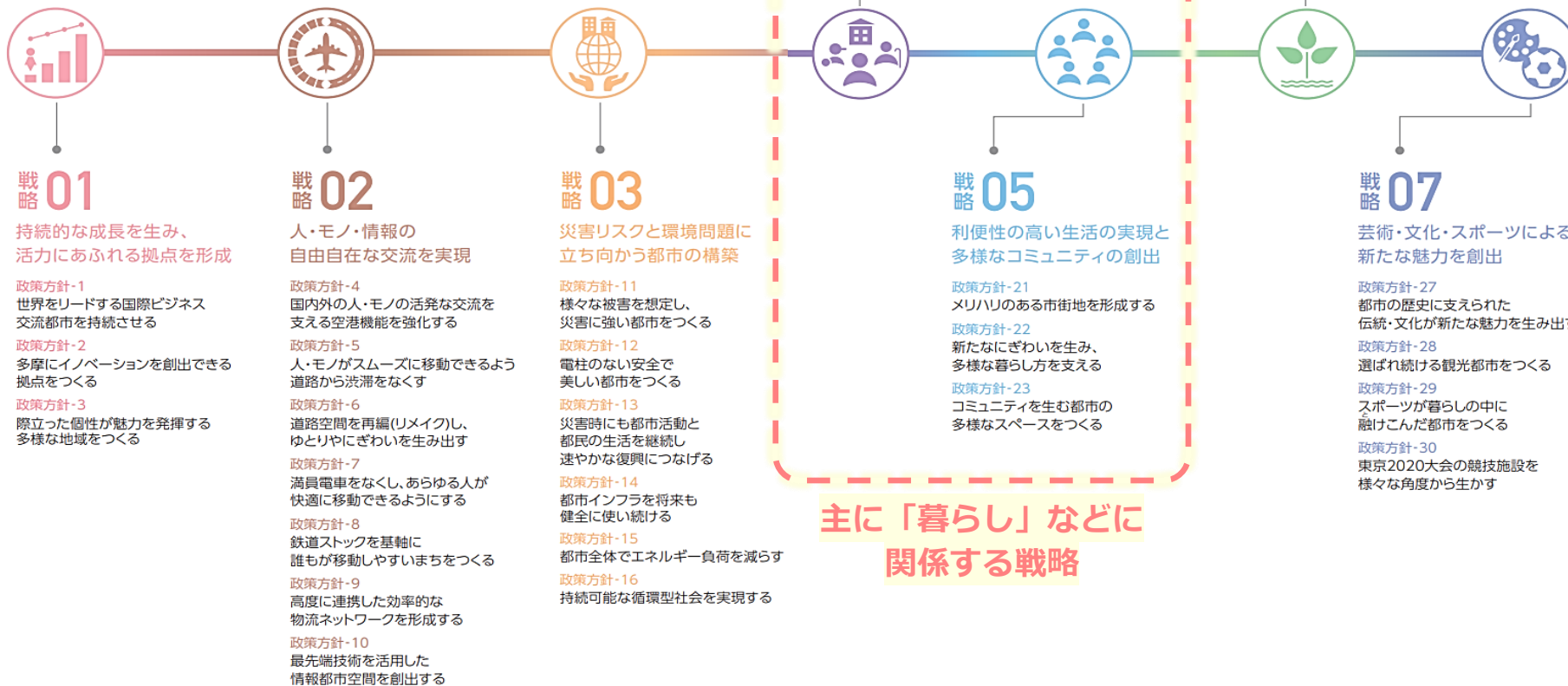


4つの地域区分と2つのゾーン

都市づくりのグランドデザイン（6）戦略・政策方針

4. 都市づくりの戦略・具体的な取組

- 目指すべき都市像の実現に向け、具体的な都市づくりを進めていくため、**7つの戦略**を設定
- また、7つの戦略に沿った都市づくりの着実な実施に向け、**政策方針や具体的な取組内容等**を記載



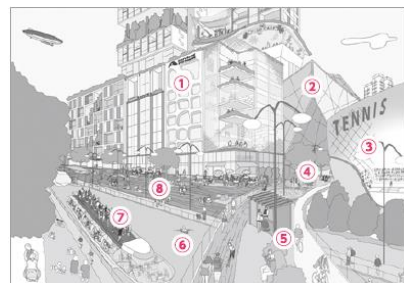
都市づくりのグランドデザイン（7）戦略4【将来イメージ】



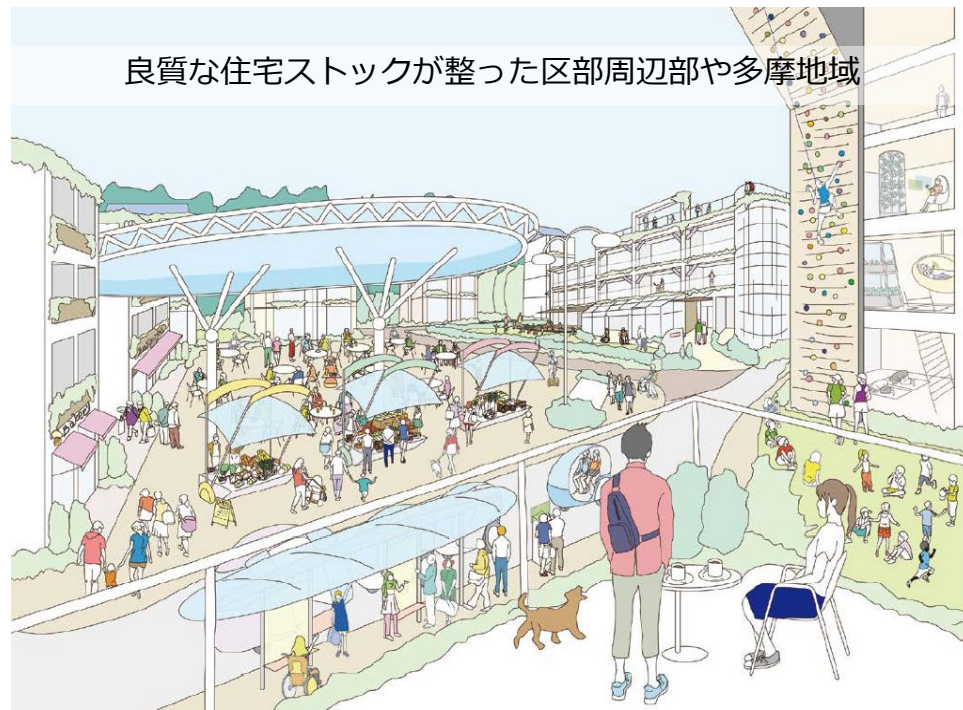
戦略 **04** あらゆる人々の
暮らしの場の提供

都市の
将来イメージ

STRATEGY



- 1 国際ビジネスパーソンが快適に暮らせるサービスアパートメント
- 2 観光客でにぎわう近代芸術の美術館
- 3 誰もがアクセスしやすいスポーツ施設
- 4 地下鉄駅間を無人で運行する便利なデマンド交通
- 5 緑と水を感じながら回遊できる歩行者空間
- 6 カヌーを楽しめる運河
- 7 水辺のにぎわい施設としても機能する船上レストラン
- 8 開発に併せて創出された水辺のテラス
- 9 開発に併せて創出された水辺のテラス



- 1 計画的に更新し大事に長く使われ続ける公的住宅
- 2 壁面をボルダリング*が楽しめるようにリノベーションした建物
- 3 テレワークも可能なSOHO*
- 4 2戸を1戸にリノベーションしたゆとりある居室
- 5 建替えて敷地を統合し緑の共用空間を生み出したマンション
- 6 好きな時間に利用できるデマンド交通
- 7 朝採れ野菜や趣味の工場の作品を販売しにぎわうマルシェ
- 8 屋上や壁面が緑化された建物
- 9 空室をリノベーションした福祉施設

都市づくりのグランドデザイン（8）戦略4【政策方針・取組】



戦略 04 あらゆる人々の
暮らしの場の提供

政策方針
取組

STRATEGY

多様なライフスタイルに応じた暮らしの場を提供する

○住宅の量的拡大から質の向上への転換を図るとともに、包容力のある都市として、ライフスタイルやライフステージに応じた質の高い、住み、働き、憩う場を充実します。

区部中心部の居住環境の質を高める

✓まちのにぎわいを楽しみながら質の高い暮らしを送っている
✓外国人ビジネスパーソンが生活環境が充実している

区部周辺部や多摩地域の住宅市街地の魅力を向上する

✓ゆとりのある住宅市街地で快適な生活を送っている

山間部や島しょ部に多様な暮らしの場を生み出す

✓豊かな自然を楽しみながら暮らしている

良質な住宅ストックを長く大事に使う

○良質な住宅を安心して選択できる市場環境を形成し、良質な住宅をつくり、きちんと手入れして、大事に長く使う社会への移行を実現します

長期間使用できる住宅ストックを形成する

✓質の高い住宅がつくられ、ストックとして大事に使われている
✓マンションや団地が適切に管理・更新されている

質の高い既存住宅市場を形成する

✓既存住宅が適正に評価されている

高齢者や障害者が生きがいを持ち、子供たちが健やかに成長できる環境を整える

○ライフステージや個人の属性に合った暮らしの場を選択でき、誰もが生きがいを持ち、いきいきと暮らせる社会を実現します

安心して子供を育てられるまちをつくる

✓子育てしやすい環境が整っている

高齢者や障害者が安心していきいき暮らせる環境をつくる

✓高齢者や障害者が地域で元気に暮らしている

豊かな暮らしを実現する仕組みを整える

✓地域の中で誰もが安心して暮らしている

多摩ニュータウンを豊かな暮らしと活力に満ちたまちに再生する

○古くなった生活基盤や住宅を時代のニーズに対応した施設に再生するとともに、充実する道路・交通ネットワークの効果を最大限に生かし、多様な世代が豊かに暮らせる活力のあるまちを実現し、今後のニュータウン再生のモデルとしていきます

住宅や生活基盤などのストックを時代に合わせてリニューアルする

✓住宅ストックを磨き上げ、成熟したコミュニティが育まれている
✓生活基盤が地域のニーズに合わせて更新され、誰もが快適に暮らしている

大規模な未利用地などを有効に活用し、多摩イノベーション交流ゾーンの一翼を担う

✓未利用地や近隣センターを活用して多様なイノベーションが創出されている
✓まちの様々なストックの活用により新たな価値が生み出されている

充実する道路・交通ネットワークの効果を生かす

✓多摩ニュータウンと周辺の地域の交流が活発になっている
✓多摩ニュータウン内の大小の個性のある拠点が連携している

都市づくりのグランドデザイン（9）戦略5 【将来イメージ】

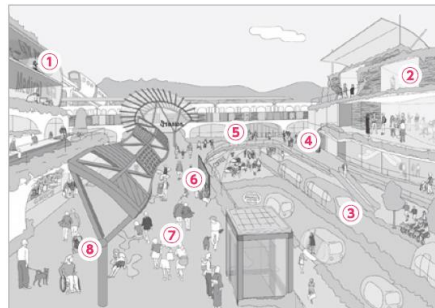


戦略 05 利便性の高い生活の実現と
多様なコミュニティの創出

都市の
将来イメージ

STRATEGY

生活や移動の利便性が高い区部周辺部や多摩地域の主要な駅周辺



- ① 主要な駅の近くで商業施設や病院などが複合化した建物
- ② 屋上や壁面が緑化された建物
- ③ 自動運転技術を活用した次世代交通システム*
- ④ 歩行者空間など公共空間と一体的にデザインされた建物
- ⑤ 高架下を活用した商業施設
- ⑥ ニーズに応じた情報を提供するデジタルサイネージ
- ⑦ 無電柱化が進み歩きやすく美しい歩行者空間
- ⑧ 多摩産材を活用した工作物

余暇や趣味を満喫できる駅から離れた地域



- ① かつての住宅市街地で自然を楽しめるグランピング*
- ② 貨客混載*の取組を促進する移動販売車
- ③ 空き家跡地を活用したコミュニティ空間
- ④ 身近な駅と住宅地の移動を支えるデマンド交通
- ⑤ 店舗にコンバージョンされた空き家
- ⑥ 太陽光発電を活用したサイクルショップ
- ⑦ 山中の構造物の点検を行うドローン
- ⑧ 古民家をリノベーションしたサテライトオフィス

都市づくりのグランドデザイン (10) 戦略5 【政策方針・取組】



戦略 05 利便性の高い生活の実現と
多様なコミュニティの創出

政策方針
取組

STRATEGY

メリハリのある市街地を形成する

○人口減少社会においても生活を支える、様々な都市機能や居住機能を大小様々な拠点に再編・集約し、地域特性に応じた集約型の地域構造を構築します。

これにより、人々の活発な交流と多様で豊かなコミュニティを生み出すとともに、快適な生活を支えます。

地域主体の都市づくりの仕組みをつくる

✓地域づくりの考え方をまちの皆が共有している

公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる

✓地域の拠点（大きな山）で商業・文化・教育などの幅広いサービスが充実している

✓身近な生活の中心地（小さな山）で必要な生活サービスが整っている

✓最先端技術を活用した交通基盤が身近な生活を支えている

住み続けられる住宅市街地をつくる

✓徒歩圏に必要な施設がそろった住宅市街地で快適に暮らしている

✓様々な世代がいきいきと暮らしている

市街地周辺をゆとりのある空間とする

✓市街地周辺で余暇や趣味を満喫している

新たなにぎわいを生み、多様な暮らし方を支える

○地域のニーズに応じた柔軟で複合的な土地利用を展開することで、まちに新たなにぎわいや交流を生み出し、人々の豊かな暮らしを実現します。

複合的な土地利用でにぎわいと交流を創出する

✓住宅地ににぎわいや交流の空間が生まれている

✓ビジネス街や倉庫街に新たな活気やにぎわいが生まれている

これまでの土地利用に新たな視点を重ね合わせる

✓農・スポーツ・文化・ものづくりなどの特色のある土地利用が進んでいる

コミュニティを生む都市の多様なスペースをつくる

○空き家を地域コミュニティのために活用するとともに、空き家が除却され生み出された空き地や既存の空き地を、新たな都市の財産として活用します。

空き家を活用して多くの人交流する機会を生み出す

✓空き家が地域で無駄なく使われている

✓放置されている空き家がなくなっている

都市のオープンスペースを使い交流を生み出す

✓既存の空き地や緑地がコミュニティの場として使われている

✓老朽化した空き家は除却され、ゆとりの空間に生まれ変わっている

5. 個別の拠点や地域の将来像

- ✓東京が一段と質の高い成長を遂げていくには、それぞれの拠点や地域が、**個性やポテンシャルを最大限発揮し、競い合いながら新しい価値を創造**していくことが重要。
- ✓新しい都市像の実現にあたっては、都民や民間事業者、区市町村などの**様々な主体が連携**して魅力的なまちづくりを進め、東京全体の活力を向上させていく必要がある。
- ✓そこで、**個別の拠点や地域について将来像の一端**を示している。

- (例)
- 経済や産業を支える中枢機能が集積する拠点
 - 人々の生活や交流の中心となる拠点
 - 歴史的な街並みや芸術・文化の施設を有する地域
 - 水辺や緑地、農地の広がる地域

6. 2040年代の将来像の実現に向けて

- ✓2040年代という将来を見据えて、今なすべきことにしっかりと取り組み、東京が有する無限の可能性を引き出しながら、「活力とゆとりのある高度成熟都市」を実現し、未来を担う次世代へと確実に引き継いでいく。
- **様々な主体の参画・連携による都市づくり**
目指すべき将来像とその実現に向けた方策について、都民や民間事業者、区市町村など、幅広い関係者と共有
- **計画や方針の策定等による政策誘導型の都市づくり**
個別の計画や各種方針等の策定・改定（「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の改定等）
- **分野横断の考えに基づくプロジェクト型の都市づくり**
分野横断的な課題を同時に解決できるようなテーマについて、関係者で共有し、連携しながら様々な施策に取り組んでいく